

今回のテーマは「段ボール・発泡スチロールの出し方」

新生活が始まる時期にごみとして出されることが多いのが、梱包に使われるもの。その中から、正しく分別して出すことで資源として有効利用される2品目を紹介します。

段ボール

「雑がみ」の回収日に出さないでください。

出し方 畳んでひもで縛り、集団資源回収や近くの回収拠点へ



札幌市 段ボール回収 検索

分別
すると

段ボールなどにリサイクルされます。

発泡スチロール

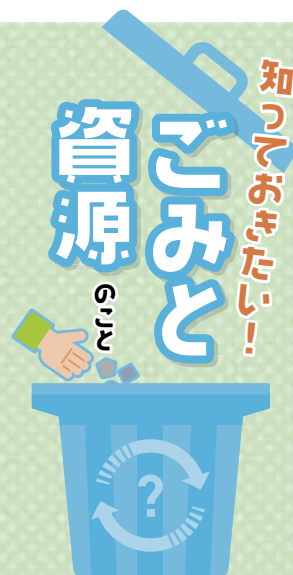
梱包用の箱や緩衝材に使われているものが対象です。

出し方 透明・半透明の袋に入れて「容器包装プラスチック」の回収日にごみステーションへ



分別
すると

ベンチや園芸用プランターなどにリサイクルされます。



詳しく知りたい方はこちら！

【ごみ分けガイド】

資源とごみの分け方、出し方を紹介した冊子です。

配布場所 区役所、市役所13階業務課、清掃事務所

【ごみ分別アプリ】

スマートフォンやタブレット端末向けに、ごみに関する情報を配信しています。

詳しくは右のコードから



生活に欠かせない「ごみ」の分別や資源化の方法などを紹介します。

詳細 循環型社会推進課 ☎211-2912

防災コンポイント

いつ起こるか分からない災害に備えて、日頃から知っておきたい情報を紹介します。

詳細 危機管理対策室 ☎211-3062

今回は

避難場所の確認

地震や洪水などの災害に備えて、自分が生活する地域で安全に避難できる場所を把握しておくことが大切です。災害の種類によって避難できる場所が異なるので、それぞれの避難場所と経路を今一度確認しておきましょう。

指定緊急避難場所とは

災害から身を守るため緊急に避難する施設や場所。災害の種類（洪水、土砂、地震、大規模な火事）ごとに、小中学校のほか、炎や煙から身を守るための大規模な公園など、合わせて約350カ所指定しています。また、小中学校などの施設は、自宅で生活できない方が一定期間滞在できる役割も兼ねています。

▶避難場所は災害の種類ごとに指定が異なり、標識に「○、×」で表しています



詳しく調べるには

区役所などで配布しているハザードマップのほか、市ホームページ、札幌市防災アプリ「そなえ」などで確認できます。

札幌市 災害に備える 検索